

ポロックを読み解く 鑑賞学習会 日程

<p>18日(金)15:45～ プレゼンテーション教室</p>	<p>①グループ毎に着席(座席指定)。指定作品配布。ファシリ、記録 ②ポロック初期から晩年までの作品を知る ポロックの人となりを知る ③事前に示された作品の第一印象を付箋に書き留める ・印象・感想・疑問点 ・作品とタイトル ・何に見える? or何が描かれている? orどの様に描かれているか? ④グループ毎の台紙に付箋を貼る(ブリコ用紙) ⑤鑑賞に際しての注意事項、集合場所・時間・</p>	<p>事前学習に示された8点の作品を中心に 8枚の画像……画像のみ →グループ毎に、人数分コピーし、当日配</p>
<p>19日(土)9:30まで 9:50～ 10:00 10:20 10:30 11:10 11:30 11:50 11:55 12:40</p>	<p>EF室机、イスの整備 アートスペースEF室(12F)集合、入室 グループごとに着席。出欠確認 名札、ワークシート、資料配布 ①ポロック展について知る(5分)(美術館) and 鑑賞の仕方について ②日程を確認する ・ワークシート記入は割り振られた作品の問のみでよい ・再現アトリエには必ず入ること 移動 10:30 展覧会入館ワークシートを書きこみながら鑑賞 課題作品の展示場所を確認する グループ鑑賞 ファシリテータ生徒は画像資料を配布「この資料を参考にワークシートの問いに教えてください。」 グループ意見交換会 記録 付箋、ブリコ用紙の配布 F 「事前学習での印象(自分、他者)、ワークシートの書きこみを読み比べ、問に対してもう一度考えて、付箋に書きこんでください。」指名し、発言させる。 記録 11:50 全体発表会 11:55 Fと記録でグループの感想、意見をまとめ、順番に発表 発表から、自分の感性と違う意見。新たに発見した意見。書き込む 全部の班が終了後、総評(塩津学芸員) 終了</p>	<p>教師、ファシリ生徒集合 早く来ている生徒と一緒に 節目の時間の確認程度にする (事前学習時に説明済)1の注意 それぞれの班の課題になっている問の確認 中心に声をかけながら、生徒と共に鑑賞 ・展示室毎の解説は読ませたい。 個々の作品の解説は極力読まないように ・再現アトリエにできるだけ入り、制作の現場を感じさせたい グループ発表ごとにコメントを入れる ワークシートは月曜日回収</p>

9:30まで	教師、ファシリ、記録生徒集合 EF室机、イスの整備	早く来ている生徒と一緒に
9:50～	K:ワークシート、図版、ブリコ用紙、付箋を受け取る アートスペースEF室(12F)集合、入室 グループメンバーを名簿で確認。適切に着席させる。	
10:00		①ポロック展について知る(5分)(美術館) and 鑑賞の仕方について
10:20	F:自分のグループがワークシートの何番の問いに注目するのか全員に確認する。	②日程を確認する ③ワークシート記入に際しての確認
10:30	FK:課題作品の展示場所を確認しておく [グループ鑑賞(展覧会場)]	展示室に移動(12F→10F美術館) 展覧会入館ワークシートを書きこみながら鑑賞
11:10	K:図版資料配布 F:「この資料を参考にワークシートの問いに教えてください。」 《ファシリテーターのためのワークシートガイド》	
	<p>1 題名からこの絵の内容を考えてみよう。 2枚の絵に共通して描かれているものは何? 色彩、形、構成を見てみよう。 この部屋の他の作品とベントンを見くらべてもいいよ。 この時代の作品を頭に置いてこの先の作品を鑑賞してください。</p> <p>2 同じ時代のアメリカの画家でピカソの影響が大きい人、ピカソを超えようとした人は多いそうです。ポロックもその一考えすぎないで、思いついた事をどんどん書くのがコツだよ。</p> <p>3 ポロックが超えようと強く意識していたピカソの言葉。同じ事を言っていると思いませんか? (何かを説明する必要はないんだ、その心地よさを楽しめば良い) 望ましい答えを期待している訳ではないよ、本当に感じた事を書くのがポイントです。 どのような様子に見えますか? 現実にある具体的な「何か」に例える事ができますか?</p> <p>4・5 再現されたアトリエの中で考えてください。ポロックになって描いている自分の姿を想像してみる。 1メートル離れて見る時。5メートル離れてみる時。何か違いを感じませんか。</p> <p>6 作品から見えてきた形について説明してもよいし、何かのストーリーが浮かんでも良い。 あるいは、「ナンバー11」や「インディアンレッドの地の壁画」と比べての違いを書いても良い。 (違いとは、雰囲気の違い。絵具の速度の違い。ポーリングの動きの違い。絵の内容の違い。)</p>	
11:25頃	F:皆が書き終えた時、または、時間になったら指示し、全員で12Fに戻る [グループ意見交換会(アートスペースEF)]	
11:30	F:皆の着席を確認したら「今から意見交換会をします」 K:ブリコ用紙と付箋1枚を配布 F:「昨日の事前学習会での感想です。図版を見たみんなの第一印象や感想が書いてあります。他の人の感想も読んでみてください。」 :「今、本物を見ての感想と比べてみてください。この問()に対してもう一度今考えて、配布したフセンに書き込んでください」 F:11:40頃、何人かを指名し、発言させる。 K:発言を記録する。	
11:50	[全体発表会] K:付箋を回収する。新たなブリコ用紙に貼る。同じ感想、近い感想、正反対な意見などに振り分け、補足説明、FKの感想、意見を付け足していきグループでの意見交換をまとめる。	
11:55	FK2人で発表。Aグループから順に3～4分程度で	
12:30	塩津学芸員から総評を受ける。	
12:40		

出席番号	氏名
------	----

『ポロックを読み解く』ワークシート

1. 「西へ」(1934-38年)とポロックの美術学校の先生ペントンの作品(図版)を比べ、どの様なところが似ていますか?どの様な点が違いますか? また、ポロック後年の作品との共通点はないだろうか? (A班)

似ている点:	違う点:

後年の作品との共通点:

他者のことば

2. 「誕生」(1941年)がある展示室の作品に共通するものを探し出そう。(作品の雰囲気、形体、色彩、マチエールなど)この時期のポロックは何を表現しようとしたのだろうか、考えてみよう。(B班)

共通するもの:
他者のことば

表現しようとしたこと:

他者のことば

3. 「ポーリングのある構成Ⅱ」(ポーリング=流動性のある塗料を流し込む方法)。この作品から何を感じましたか?(正直に書きなさい)(C班)

他者のことば

4. 「ナンバー11」「インディアンレッドの地の壁画」の作品。(D.E班)

会場内に再現されたポロックのアトリエ、制作フィルム、などを体験して、、、この作品をじっくりと見て、何がみえてきましたか?どのようなことを感じましたか?

他者のことば

5. 「ナンバー9」「カットアウト」の作品。ポーリングやドロッピングで制作された後に、筆で塗り重ねたり、人の形にカットしたりしています。どうしてこのように制作しているのでしょうか?(F.G班)

他者のことば

6. 「ナンバー8」のある展示室の作品は、ほとんど黒一色で、何か具体的なものを描こうとしているように見えます。ポロックはここにどのようなものを描こうとしていたのか、あるいは、すでに何が描かれているのだろうか?これらの作品からあなたが見えたものについて書きなさい。(H班)

他者のことば

7. ポロックの作品に対するイメージや理解は、事前学習時と生の作品を鑑賞した後とでは、どの様に変化しましたか?また、変わらない点がありましたか?展覧会を見終えての感想を書きなさい。
